

「海外における高等教育に関する動向」(平成23年3月分)

日本学術振興会

【目次】

- 1. 米国 P 1
 - 1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの(ワシントン研究連絡センター)
 - ① 大学向け寄付
 - ② 頂上へのレース(Race to the Top)
 - ③ 教育省予算案
 - ④ 教育技術
 - 1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの(サンフランシスコ研究連絡センター)
 - ① 新聞報道等
- 2. ドイツ(ボン研究連絡センター) P 7
 - ① 連邦教育研究省(BMBF)の動向
 - ② ドイツ学術交流会(DAAD)の動向
 - ③ ドイツ研究協会(DFG)の動向
 - ④ ドイツ大学長会議(HRK)の動向
- 3. 英国(ロンドン研究連絡センター) P 12
 - ① ビジネス・イノベーション・技能省(BIS)の動向
 - ② イングランド高等教育財政会議(HEFCE: Higher Education Funding Council for England)の動向
 - ③ Office for Fair Accessの動向
 - ④ 高等教育統計局(HESA: Higher Education Statistics Agency)の動向
 - ⑤ 英国大学協会(UUK: Universities UK)の動向
 - ⑥ その他機関の動向
 - ⑦ 英国の新聞等報道(2010年2月16日~2011年3月15日)
- 4. フランス(ストラスブール研究連絡センター) P 31
 - ① フランス高等教育の動向
- 5. 中国(北京研究連絡センター) P 33
 - ① 中国政府の高等教育政策の動向
 - ② 中国の主要大学の動向(主として大学のHPから)
 - ③ メディア(インターネット)による報道
 - ④ メディア(新聞)による報道

1. 米国

1-1. 連邦政府や全国的な大学団体等に関するもの

① 大学向け寄付

●大学への寄付、前年比0.5%の微増

教育支援審議会 (Council for Aid to Education) が毎年発表する「教育への寄付支援調査 (Voluntary Support of Education Survey)」によると、2010年度に高等教育機関向けに行われた寄付額総額は前年度比0.5%増の280億ドルとなった(ただしインフレ率を換算すると0.6%減)。米国の経済状況悪化に伴い、2008年度は前年度比11.9%減と過去50年間で最大の急落率を見せたが、その後は落ち着きを見せ、2010年度の寄付額は2006年度と同程度まで回復している。本調査に回答した大学約1,000校のうち、2010年に寄付額が前年よりも増加したのは全体の52%に上っている。

寄付元を見ると、寄付額全体のうち30%が財団、25.4%が卒業生、17.6%が卒業生以外の個人、16.9%が企業、それ以外がその他の団体という内訳になっている。また、2010年の寄付金受領額上位3大学は、スタンフォード大学(5億9,890万ドル)、ハーバード大学(5億9,700万ドル)、ジョンズホプキンス大学(4億2,760万ドル)である。

また、寄付を行った卒業生の割合は、卒業生全体の9.8%と、2009年の10%からさらに下がって過去最低となり、また、卒業生の平均寄付額も低下という結果となっている。

<関連情報>

・Council for Aid to Education Press Release

http://www.cae.org/content/pdf/VSE_2010_Press_Release.pdf

・Donations to Colleges Rose, if Only Slightly, in 2010

<http://chronicle.com/article/article-content/126178/>

・Not So Full Recovery

http://www.insidehighered.com/news/2011/02/02/colleges_see_very_modest_growth_in_fund_raising

② 頂上へのレース (Race to the Top)

●教育省、「頂上へのレース卒業式チャレンジ」開始

2月1日、大統領府は、「2011年頂上へのレース卒業式チャレンジ (2011 Race to the Top Commencement Challenge)」への応募を受け付けることを発表した。これは、公立高

校が対象となるもので、各高校がどのように生徒の大学進学や就職を支援しているか、またどのような成功をもたらしているかが評価の対象となる。

応募は、特設ウェブサイトにおいて2月25日まで受け付けられ、優勝校には、オバマ大統領が2011年の卒業式に講演者として出席することが決定している。応募に当たっては、高校が、各学生の大学・就職準備をどのように支援し、生徒の成功を生む環境を整備しているかを説明したエッセイ及び統計情報の提出が求められている。

今回のチャレンジは昨年につき2回目となるもので、前回は1,000校以上が応募し、最終選考に残った6校が提出したショートビデオとエッセイが一般に公開され、17万人以上が票を投じた。一般から得られた点数が最も高かった3校のうち、オバマ大統領により、ミシガン州カラマズーの公立高校であるカラマズー中央高校（Kalamazoo Central High School）が優秀校として選ばれた。

アーン・ダンカン教育長官（Arne Duncan）は「この卒業式チャレンジは、学生にとって、学校の取組みを紹介する機会となるとともに、大学や就職に向けた準備努力に対する評価を受けるまたとない機会を与えるものである」と述べている。

<関連情報>

・ White House Launches 2011 Race to the Top Commencement Challenge

<http://www.ed.gov/news/press-releases/white-house-launches-2011-race-top-commencement-challenge>

③ 教育省予算案

●2012年度教育省予算案発表

2月14日に発表された2012年度教育省予算では、ペルグラントを除く通常予算として、前年比4.3%（20億ドル）増の488億ドルが計上されている。ここでは幼児学習から大学教育にかけて様々なプログラムが新設・拡大されており、その例としては、児童の早期学習を支援するために新設される「早期習得チャレンジ資金（Early Learning Challenge Fund）」への3億5,000万ドルや、「頂上へのレース」への9億ドル、放課後プログラム「21世紀コミュニティ学習センター（21st Century Community Learning Centers）」予算の1億ドル増額（総額12億7,000万ドル）などが挙げられる。大学に関しては、大学卒業率を向上させるための競争的グラント向けに1億7,500万ドルが要求されている。

ペルグラントに関しては、前年度から54億ドル増の286億ドルが要求されているが、1人あたりの補助額5,550ドルを維持するために、2012年度予算では、大学院生向けローンの利息補助制度に加え、1年間に2回に亘るペルグラント受給を認める規則の廃止を打ち出している。アーン・ダンカン教育長官は、このような措置は、ペルグラントへ

の需要が急増し、2008年度の600万人から2012年度には960万人がペルグラントを受けることが予測されていることから、「絶対に必要であった」とし、「削減できるところはどんどん削っていかねばならない」としている。

教育省では2012年度予算において13のプログラムを廃止し、1億4,700万ドルのコストが削減されたとしている。また、就職支援・技術教育補助金（Career and Technical Education Grant : CTE 補助金）に対する予算も2億6,500万ドル（前年度比20%）減少となっており、ダンカン教育長官はCTE補助金の再編成を行う意図を表明している。しかし同制度の支援者らは、これらプログラムは失業者に新しいスキルを身につけさせることを目的としたものであるため、予算縮小は、失業者数減少という政権目標にそぐわないと反対の声を上げている。

<関連情報>

・ FY 2012 Budget Summary: Table of Contents

<http://www2.ed.gov/about/overview/budget/budget12/summary/index.html>

・ Education Budget Makes Tough Choices to Allow for New Investments in Early Learning, Reform and Innovation, Teachers and Leaders, and College Completion

<http://www.ed.gov/news/press-releases/education-budget-makes-tough-choices-all-ow-new-investments-early-learning-reform>

・ Obama Proposes Modest Hike in Education Spending for FY 2012

http://blogs.edweek.org/edweek/campaign-k-12/2011/02/the_administration_just_releas.html

・ Obama's education budget would spare Pell grants, increase spending 11% overall

<http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2011/02/14/AR2011021403265.html>

・ President's Budget Protects Pell Grants, but Makes Deep Cuts to Career and Technical Education

<http://chronicle.com/article/article-content/126370/>

④ 教育技術

● ハイリスク・ハイリターンの教育関連技術の開発を支援するARPA-ED構想発表

2012年度大統領予算案では、ハイリスク・ハイリターンの教育関連技術の研究開発を支援するファンディングエージェンシー「教育高等研究事業局（Advanced Research Projects Agency - Education : ARPA-ED）」の設立が盛り込まれており、教育省予算の中で9,000万ドルの予算が要求されている。

これは、国防高等研究事業局（Defense Advanced Research Projects Agency : DARPA）

やエネルギー高等教育事業局（Advanced Research Projects Agency - Energy : ARPA-E）といった既存のハイリスク・ハイリターン研究開発に支援を行う機関をモデルとしたもので、これまで教育技術開発支援の中心となってきた全米科学財団（National Science Foundation : NSF）のような基礎研究支援ではなく、画期的なアイデアや革新的な技術の研究開発を進める学際的チームに支援を行うことが予定されている。教育分野の研究開発インフラの遅れを埋めるため、リスクが高いながらも実用化されればインパクトは高いと考えられる技術や研究を促進し、ニーズの高い課題や分野に活用できる技術の教育現場への導入を進めることが ARPA-ED の設立目的となっている。

<関連情報>

・ FY 2012 Budget Summary: Table of Contents

<http://www2.ed.gov/about/overview/budget/budget12/summary/index.html>

・ Investing in Education Technology to Win the Future

<http://www.ed.gov/blog/2011/03/investing-in-education-technology-to-win-the-future/>

1-2. 主として州政府や個別の大学に関するもの

①新聞報道等

●カリフォルニア大学の10キャンパスの給与システム等を一元化する計画

UC replacing campus payroll systems

(UC Newsroom RSS, February 16, 2011)

<http://www.universityofcalifornia.edu/news/article/24997>

●流行に逆らい、大学が学費減額

Bucking Trend, College Will Cut Price

(The New York Times, February 16, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/02/17/education/edlife/17tuition.html?partner=rss&emc=rss>

●入試においてテストを任意とする方針を決めたデュポール大学

DePaul Becomes Biggest Private University to Go 'Test Optional'

Applicants may choose to write essays that reveal 'heart'

(The Chronicle of higher education, February 17, 2011)

<http://chronicle.com/article/article-content/126396/>

●イェール大学の” Open Yale Courses” でオンラインのスタディ・グループを形成する
ウェブサイトが開設

Users worldwide can now unite in online study groups for Open Yale Courses
(Yale University Office of Public Affairs, February 21, 2011)

<http://dailybulletin.yale.edu/article.aspx?id=8282>

●大学卒業率増加への取り組みのための財政支援

New Effort to Encourage States on Completion Goals

(Inside Higher education, February 22, 2011)

http://www.insidehighered.com/news/2011/02/22/qt/new_effort_to_encourage_states_on_completion_goals

●イェール大学における最も優秀な理系の高校生のリクルートを狙った取り組み

On the trail of top talent: Yale aims to recruit best high school science students
(Yale University Office of Public Affairs, February 22, 2011)

<http://dailybulletin.yale.edu/article.aspx?id=8287>

●ハーバード大学とプリンストン大学がアーリー・アドミッションプログラムを復活させる

Harvard and Princeton Restore Early Admission

(The New York Times, February 24, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/02/25/education/25admissions.html?partner=rss&emc=rss>

●米国労働省がコミュニティ・カレッジへの新たな補助金を公表

Labor Dept. Announces New Community College Grant

(Inside Higher education, March 1, 2011)

http://www.insidehighered.com/news/2011/03/01/qt/labor_dept_announces_new_community_college_grant

●より多くの大学卒業者が公共サービスの職に就く

More College Graduates Take Public Service Jobs

(The New York Times, March 1, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/03/02/business/02graduates.html?partner=rss&emc=rss>

●州財政縮小から公立大学が財政的自立を模索

Public Universities Seek More Autonomy as Financing From States Shrinks

(The New York Times, March 2, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/03/03/education/03colleges.html?partner=rss&emc=rss>

●カリフォルニア州予算委員会が Cal Grant に対する新たな規定を承認

State budget panel OKs new rules for Cal Grants

(SFGate Education, March 4, 2011)

http://articles.sfgate.com/2011-03-04/bay-area/28652784_1_students-at-for-profit-schools-cal-grant-student-loan-default-rate

●カリフォルニア大学バークレー校における職員のメンターシップ・プログラムの利点

Benefits of mentorships abound for Berkeley participants

(The UCOP e-newsletter, March 8, 2011)

<http://link.ucop.edu/2011/03/08/benefits-of-mentorships-abound-for-berkeley-participants/>

●より多くの外国生まれの学者がアメリカの大学を率いる

More Foreign-Born Scholars Lead U.S. Universities

(The New York Times, March 9, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/03/10/education/10presidents.html?partner=rss&emc=rss>

●公聴会で利益追求型大学の経済的成功と教育の失敗がわかる

Hearing Sees Financial Success and Education Failures of For-Profit College

(The New York Times, March 10, 2011)

<http://www.nytimes.com/2011/03/11/education/11college.html?partner=rss&emc=rss>

2. ドイツ

① 連邦教育研究省（BMBF）の動向

●ドイツの研究者が日本を支援する (16 Mar 2011)

日本の地震からの復興に対して、国立レオポルディナ学術アカデミー、ドイツ工学アカデミー、ベルリン・ブランデンブルク学術アカデミーが中心となり、ドイツ国内の多くの研究機関が、健康、地震研究、エネルギーの供給、原子炉の安全や放射線防護の問題といったあらゆる支援が望まれる領域での鑑定に協力する用意があることを表明した。2011年3月15日に、連邦教育研究省シャヴァーン大臣がドイツ研究センターとの会議後に公表した。

連邦教育研究省は、これに参加する研究機関が講ずる必要な緊急措置のために500万ユーロを用意した。「今は北日本の被災した地区の人的支援が絶対的に優先ではあるが、同時にすでに始まっている復興に対しては専門知識が必要不可欠となる。ドイツは現場で求められる研究者に対して、考えつく限りのあらゆる支援を与える。それに伴い必要となる経費を負担する用意ができています。」とシャヴァーン大臣は述べた。

シャヴァーン大臣は近く、学術、研究、専門政策の首脳会議を招集する。協議内容の中心は、日本の原子炉事故によりドイツの原子力発電所の運転期間延長が取りやめになったが、その後のドイツ、ヨーロッパ及び世界中のエネルギーシステムの転換に対してどのような結論を見つけるべきか、ということになる。

Kooperation International HP

(<http://www.kooperation-international.de/countries/themes/nc/info/detail/data/54646/>)

●学術界での女性の割合がここ数年で大きく増加 (24 Feb 2011)

ドイツでは、大学教授、大学教授資格取得者、大学院生及び大学生といった学術界に占める女性の割合がここ数年で目に見えて増加している。大学教授の女性の割合は2009年には18.2%となったが、これは対2005年比4%、対1995年比10%の増加である。2009年には博士号を取得した者に占める女性の割合は44%となったが、2005年は39.6%にすぎなかった。同じ時期に、大学教授資格取得者の女性の割合は13.8%から24%に上昇した。大学修了者の割合については、1995年は41.6%であったが、現在では51.6%まで上昇し、女性のほうが少し上回るまでになった。

教授のポストに占める女性の割合が上昇したのは、BMBFの「女性教授プログラム」の貢献も大きい。このプログラムの枠組みで、2007年から260名の女性教授が採用された。その内30%がMINT分野(Mathematik(数学)、Informatik(情報科学)、Naturwissenschaften(自然科学)、Technik(工学))であった。また、学生に占める

女性の割合が増加したのは、連邦奨学金の増額や支給枠組みの変更によるところも大きい。

連邦教育研究省のシャバーン大臣は、「これまでの成果は喜ぶべきであるが、まだ目標には到達していない。私たちは女性の能力や創造力を必要としている、それは指導的立場においてもである。これは単に機会均等だけの問題ではない。」と強調している。

BMBF HPプレス (<http://www.bmbf.de/press/3046.php>)

② ドイツ学術交流会 (DAAD) の動向

● 「DAAD友の会」が「ドイツのホスト役」として評価される (10 Feb 2010)

ドイツ人の DAAD 元奨学生の同窓会である「DAAD 友の会」が、「アイデアの国ドイツー365 の拠点」コンテストで入賞した。このコンテストには、2010 年 12 月に約 2,600 件の応募があった。外国人留学生に対してドイツ文化に親しみを持たせ、それにより留学生がドイツに順応するのを手助けした、というのが友の会の受賞理由である。それらの活動を通して、友の会は民族間のコミュニケーション促進に貢献したというだけでなく、学術拠点としてのドイツをより強化した。

友の会はドイツ全土の約 40 の大学で、外国人の DAAD 奨学生のために文化的行事その他課外活動をボランティアで企画・運営している。1,300 人の会員を有するこの団体は、今年創立 30 周年を祝う。

「アイデアの国ドイツー365 の拠点」は、連邦政府と経済界により主導されたもので、ドイツ連邦産業連盟 (BDI) が代表を務めている。ヴルフ大統領の後援とドイツ銀行の協力の下で、ドイツの肯定的な印象を与えたり、経済及び学術の拠点としてのドイツをより強化する 365 のプロジェクトやアイデアを、2006 年から毎年表彰している。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2011/16505.de.html>)

● エラスムスプログラムによる留学は増え続けている (10 Mar 2010)

2009/10 年度においては、EU の「エラスムスプログラム」によって 2 万 4,000 人以上のドイツ人大学生がヨーロッパ内 30 ヶ国でカリキュラムの一部を修了した。それに加えておよそ 5,000 人の大学生が、外国で職業訓練を行った。合計すると約 2 万 9,000 人の学生がエラスムスプログラムの支援を受けており、前年度と比べ 1,000 人増え、過去最高の数字となった。さらに同プログラムの下で、2,805 人のドイツ人教員が外国の大学で講義を行い、525 人の大学の代表者が外国で継続教育を実施することができた。これは DAAD が連邦教育研究省 (BMBF) からの委託を受けて実施した調査により明らか

になった。

エラスムスプログラムとは、EU 圏内の流動性を高めるプログラムであるが、2007/08 年から新しい段階に入っている。このプログラムの下で、3 ヶ月から 12 ヶ月間の留学や外国での職業訓練を行うことができるが、EU27 ヶ国に加え、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、トルコを加えた 31 ヶ国が参加している。将来的にはクロアチアやスイスも加わることになる。

DAAD はエラスムスプログラムの枠内で、2009/10 年度は合計 4,800 万ユーロの予算をもとに、留学に対しては月額平均約 206 ユーロ、外国での職業訓練に対しては月額平均約 354 ユーロの支援を行った。

DAAD HP プレス

(<http://www.daad.de/portrait/presse/pressemitteilungen/2011/16709.de.html>)

③ ドイツ研究協会 (DFG) の動向

●エクセレンス・イニシアティブ第 2 ラウンドの予備審査結果について (2 Mar 2011)

ドイツ研究協会 (DFG) とドイツ学術審議会 (WR) による共同委員会は、2011 年 3 月 2 日、エクセレンス・イニシアティブ第 2 ラウンドの予備審査結果を発表した。64 大学から計 227 件の応募があった (一部は複数大学からの共同申請) が今回の予備審査で 32 大学からの計 59 件を選抜した。

エクセレンス・イニシアティブとは、ドイツの学術研究を強化して国際競争力を向上させるために創設された、日本のグローバル COE プログラムとも比較される大規模プログラムである。第 1 ラウンドの予算は合計 19 億ユーロであったが、今回の第 2 ラウンドでは、2017 年までの 5 年間に総額 27 億 2,400 万ユーロの予算が投入される。

エクセレンス・イニシアティブには 3 つのプログラムがあり、大学院設立構想 (グラデュエート・コレク) においては 98 件の申請中 25 件、研究拠点設立構想 (エクセレンス・クラスター) においては 107 件中 27 件、大学の将来構想 (エリート大学) においては 22 大学中 7 校が予備審査を通過した。

今回予備審査を通過した 59 件は、2011 年の 9 月 1 日までに詳細な計画書を提出することになり、2012 年の春に行われる最終審査で、現在第 1 ラウンドで支援を受けている機関からの継続申請と競うこととなる。第 1 ラウンドで支援を受けている機関も、2011 年 9 月 1 日までに継続支援に対する申請をする必要がある。その後、DFG や WR による審査等を経て、2012 年の 6 月 15 日の連邦政府及び州政府の担当大臣により構成される認定委員会において、2012 年 11 月以降 5 年間支援を受けられる案件が最終的に決定される。最終的な採択件数及び案件ごとの支援金額については未定である。なお、第 1 ラウンドにおいては、大学院設立構想 (グラデュエート・コレク) では 39 件、研究拠点設立構想 (エクセレンス・クラスター) では 37 件、大学の将来構想 (エリート大学) では

9校の計85件が最終審査にて採択され、2006年又は2007年から支援を受けている。

○申請から採択決定までのスケジュール

- 2010年9月1日 公募締め切り（“short proposal”による申請。65大学から計227件の応募）
- 2011年3月2日 予備審査結果発表（32大学からの計59件通過）
- 2011年9月1日 最終審査のための詳細な計画書（“full proposal”）の提出締め切り
- 2011年 春頃まで DFG及びWGによる審査（予備審査と同じく、大学院設立構想（グラデュエート・コレク）と研究拠点設立構想（エクセレンス・クラスター）をDFGが、大学の将来構想（エリート大学）はWRが担当する）
- 2012年6月15日 DFGとWGの共同委員会による審査等を経て、認定委員会において採択案件の最終決定

○予備審査を通過した大学

予備審査を通過した大学名は次のURLに掲載されてい

る。http://www.dfg.de/service/presse/pressemitteilungen/2011/pressemitteilung_nr_08/index.html

その内、大学の将来構想（エリート大学）の予備審査を通過した大学は次の7校である。

ベルリン・フンボルト大学、ボーフム大学、ブレーメン大学、ドレスデン工科大学、ケルン大学、マインツ大学、テュービンゲン大学

また、第1ラウンドにおいて大学の将来構想（エリート大学）に採択された大学は次の9校である。

ベルリン自由大学、アーヘン工科大学、フライブルク大学、ゲッティンゲン大学、ハイデルベルク大学、コンスタンツ大学、カールスルーエ工科大学、ミュンヘン大学、ミュンヘン工科大学

DFG HP プレス

(http://www.dfg.de/service/presse/pressemitteilungen/2011/pressemitteilung_nr_08/index.html)

④ ドイツ大学長会議（HRK）の動向

●第11回学生調査：大学改革のさまざまな姿が浮き彫りに

Student Survey: A Differentiated Snapshot of the Academic Reforms (16 March 11)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2692.php)

●HRK ヴィンターマンテル会長：エクセレンス・イニシアティブの第2ラウンド
予備審査の結果を受け

HRK President Wintermantel on the Excellence Initiative (3 March 11)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2688.php)

●ヨーロッパ高等教育政策における共同戦略の実現のために：HRK とフランス大
学長会議は EU 関連活動の協力について合意

On the way to a joint strategy in European Higher Education Policy: HRK and
The French Rectors' Conference (CPU) agree to coordinate EU-related
activities (28 February 11)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2687.php)

●科学的不正は重大な違反

Scientific misconduct is a serious offence (23 February 11)

HRK HP (http://www.hrk.de/eng/presse/95_2658.php)

3. 英国

① ビジネス・イノベーション・技能省 (BIS) の動向

● 高等教育を最大限に生かすための学生規約

2月17日、BISは、学生規約グループの報告書の提出（「Final Report」January 2011）を受け、コメントを発表した。デビット・ウィレッツ大学・科学担当大臣は、学生の権利と責任を明確にするための規約を策定すべきだと述べた。また、多くの大学は規約を作成していないとし、学生は何を学び、どのようなサポートを受け、可能性を伸ばすのに何が 필요한のかを知る権利があると述べている。

【BISの関係 URL】

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?ReleaseID=418136&NewsAreaID=2>

● Ron Dearing 記念講演：大学と社会的流動性

2月17日、BISはデビット・ウィレッツ科学・大学担当大臣がノッティンガム大学で社会的流動性について、過去の推移と比較して行った講演内容を公表した。講演の中では、社会的流動性は、政府の重要課題だとし、現在ニック・クレグ副首相が政府横断的な社会的流動性に関する戦略を作成中であり、大学もその一部に含まれるとした。また、低所得者層からの高等教育進学率は5年前から30%、15年前から50%とそれぞれ増加しており、裕福層と貧困層の差異は減少しているとしながらも、裕福層から抽出した20%の進学率が57%に対し、貧困層から抽出した20%の進学率が19%と歴然とした差は依然としてある。そのほか、有力企業は、上位約20大学を主な対象として採用活動をしていること、弁護士や医師などの業種に就いた卒業生の家計収入が一世代前より上昇していることなどと述べた。そのほか、有力大学は、入学試験時に公立学校出身者に一定の配慮をしているとしているが、ブリストル大学の入学時は私立学校出身者の学力の方が高くても卒業時には公立学校出身者の学力が高くなっているという例を挙げている。

この講演の中で、適正な授業料を£7,500としており、大学は、2014年までに現在と比較して10%以上の資金を手にすることができるとしている。また、継続教育機関など明らかに£9,000の授業料を課す高等教育機関もあり、大学間の競争は激化するなどと述べた。

【BISの関係 URL】

<http://www.bis.gov.uk/news/speeches/david-willetts-universities-and-social-mobility>

● 英国大学協会 (UUK: Universities UK) の春季会議におけるデビッド・ウィレッツ大学・科学担当大臣の講演について

2月25日、BISは同日開催されたUUKの春季会議におけるウィレッツ大臣の講演内容

を公表した。講演内容は、基本的にすでに公表されている内容に沿ったものとなっているが、目新しい内容として、高等教育に関する白書の公表時期の延期すること、2012年の学生ローンの受付開始時期を2011年後半もしくは2012年前半に開始すること、教員養成のためのプログラム（Initial Teachers Training）の財政の詳細は、TDAより来月（3月）に公表予定であること、学生ビザについては高等教育機関がリスクを負わないように Home Office と調整を行っていること、HEFCE の研究評価枠組（Research Excellence Framework）がまもなく公表されること、イングランド内において多用な高等教育機関の展開を希望すること、などについて述べた。

【BIS の関係 URL】

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?ReleaseID=418283&NewsAreaID=2>

● Office for Fair Access (OFFA) が公表した指示書について

3月8日、BISは、OFFAが公表した指示書についてデビット・ウィレッツ大学・科学担当大臣のコメントを発表した。大学は将来的に不利な立場の学生の入学をより拡大することを求められるとし、OFFAが公平なアクセスに対して期待すべき内容を明確にするとした。また、政府として、£6,000以上授業料を課す大学が、設定した目標値に達しないときは公平なアクセスに関するより一層の努力を求めるとしている。

【BIS の関係 URL】

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?ReleaseID=418459&NewsAreaID=2>

② イングランド高等教育財政会議 (HEFCE: Higher Education Funding Council for England) の動向

● ‘生徒を含めたあらゆる大学の活性化が成功にとって重要’ – ノッティンガム大学での講演内容について

2月17日、HEFCEから、ノッティンガム大学で開催された Dear ing 高等教育会議において、HEFCEの事務局長アラン・ラングラズ卿が行った講演内容が公表された。講演ではすべての大学の幹部もスタッフも学生の可能性を理解し、学生を含む機関が質と基準値を向上させるために努力しなければならないとした。また、新制度への移行は国家にとって適切であり、機関の利益、継続的な成長への必要性などの課題に基づく明確な制度変更であるとした。この制度変更は、現行の長所を基に策定され、将来的な可能性のある箇所を重点化し、弱点に取り組むよう注意深く対応する必要があるとも述べている。

【HEFCE の関係 URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/involve.htm>

● 柔軟性があり革新的な支援に関する調査報告書の公表について

2月18日、HEFCEは柔軟性があり革新的な支援に関する報告書、(1)高等教育における様々な支援：選択と挑戦 (Diverse provision in higher education: options and challenges)、(2)2年制学位の推進のための費用に関する研究 (Costing study of accelerated two-year honours degrees : a report to HEFCE by Liz hart Associates)、(3)柔軟な学習の先駆者 (Flexible Pathfinders: key statistics 2008-09)を公表した。

【HEFCEの関係URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/flexible.htm>

● REF*の委員の公表について

2月21日、HEFCEはREF2014のための専門家委員を発表した。委員は英国にある4つの財政会議が候補者を募った中から選ばれた。この委員会は、2011年中に、2014年から実施する評価の基準等を策定予定。

※REF : Research Excellence Framework …2014年から始まる、英国の高等教育機関における研究の質を評価するための新しいシステム。研究資金の配分やベンチマーキングに係る情報提供、公共投資に関するアカウンタビリティの確保等を目的としている。

【HEFCEの関係URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/refpanel.htm>

● 2014 Research Excellence Framework (REF) の評価比重について

3月1日、HEFCEは、2014 REFに関して研究効果の評価にどの程度の比重を置くかについてまとめた報告書「Decisions on assessing research impact」を公表した。

評価比重は、各高等教育機関から REF に提出されたデータによって、研究成果、効果や研究環境のなどの事象が、全体の質にどれほど貢献するかによる。それぞれの評価比重は以下の通り。

- ・ 研究成果—65%
- ・ 効果—20% (将来的には25%に増加させる可能性あり)
- ・ 環境—15%

優れた研究効果の明確な認識は、高等教育機関における新しい研究評価である。その概念は2008年の研究成果の取り組みを基に作成しており、2009年はUKの財政支援団体がREFにおける研究効果の評価を含む提案を行った。それは、高等教育部門が優れた研究を行うとともに、広く経済的・社会的な利益を得るための活動など、持続的かつ向上に資する活動に関する政策を反映するものとなっている。なお、詳細は今後発表予定。

【HEFCEの関係URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/refimpact.htm>

● 財政的な安定に関するNAO (National Audit Office) 報告書について

3月4日、HEFCEはNAOが公表した報告書「Regulating Financial Sustainability in Higher Education」についてコメントを発表した。この報告書では、HEFCEが高等教育部門の信頼を維持しつつ、大学・カレッジの財政的な安定を管理するための費用効率が高く、価値のある予算を分配しているとしている。高等教育機関は新しい枠組みの中で異なった財政的な制度への移行期間に入っており、BISによって公表される白書では、新しいHEFCEの役割が示されるだろうとした。

【HEFCEの関係URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/nao.htm>

● 大学財政の健全性に関する報告書の公表について

3月7日、HEFCEは大学財政の健全性に関する報告書「Financial health of the higher education sector:2009-10 financial results and 2010-11 forecasts」を公表した。報告書では、2009-10年の財政について、いくつかの主要な指標が非常に良い結果を示しているとした。2009-10年の終わりには、堅固な現金残高と健全な準備金を保持しており、大学が直面しているリスクへの緩衝材になるとしている、また、多くの機関が公的財政の圧力に先んじてコストベースで構造改革を行う機会を有していることを証明しているとしている。

【HEFCEの関係URL】

<http://www.hefce.ac.uk/news/hefce/2011/financial.htm>

③Office for Fair Access (OFFA) の動向

● 授業料£6,000以上を課す大学への公平なアクセスに関する指示書の公表について

3月8日、OFFAは2012-13年より授業料£6,000以上を課す大学と締結する access agreement に関する指示書の内容を公表した。今回発表された指示書は、2012-13年から£6,000以上の授業料をフルタイムの学生に課す大学が対象。OFFAは、すべての機関がより結果を重視してほしいとした。また、公平なアクセスの拡大に関する取組はすでに行われており、過去5年間で不利な立場から進学した者の割合は30%上昇しているが、上位に位置する大学はまだ改善の余地があるとしている。本指示書の中で機関に求める事項は以下の通り。

- ・ 不利な立場にある学生たちの意欲を掻き立てるのに実績のある、長期的な目標をもったアウトリーチ活動にかかる支出の増加。大学に対して学生への財政支援の削減の影響が重要だとして、経過観察を求めている。
- ・ 奨学金や授業料無償化の対象を最も不利な立場にある者に絞ること
- ・ 政府とのマッチングファンドである新しい National Scholarship Programme (NSP) への参加
- ・ 入学者数とアウトリーチ活動の関係など柔軟な目標設定

- ・ アクセスに関する施策にどれだけ支出するかを決定する際は、学生に課す授業料と受入者数を考慮する。指示書は支出に関するおおよその数値を示しているが、支出額より成果について重視

【OFFA の関係 URL】

<http://www.offa.org.uk/press-releases/offa-sets-out-what-universities-need-to-do-to-charge-fees-of-more-than-6000/>

④ 高等教育統計局 (HESA : Higher Education Statistics Agency) の動向

● 高等教育機関における学生に関する調査 2009/10 (Students in Higher Education Institutions 2009/10) の公表について

2月24日、HESAは高等教育機関における学生に関する調査2009/10 (Students in Higher Education Institutions 2009/10) を公表した。調査結果によれば、英国では2009/10年に高等教育機関に在籍する学生数は2,493,415人となっており、うち83.7%にあたる2,087,615人が英国人学生であり、EU出身の学生数が5.0%、125,045人、EU外出身の学生が11.3%、280,760人となっている。またEU外からの学生の割合は、中国(香港を除く)、インド、ナイジェリア、米国の順番となっており、今回初めて上位10国にタイが入ったほか、EU内からの学生の割合が多い順番は、アイルランド、ドイツ、フランス、ギリシャ、キプロス、ポーランド、イタリア、スペイン、ブルガリア、オランダとなっている。

<英国の高等教育機関における出身別の学生数>

居住地	2008/09	2009/10	%(前年比)
英国	2027085	2087615	3.0%
EU (英国除く)	117660	125045	6.3%
EU 外	251310	280760	11.7%
合計	2396050	2493415	4.1%

<EU 外の出身国別学生数>

出身国	2008/09	2009/10	% (前年比)
中国 (香港除く)	47035	56990	21.1%
インド	34065	38500	13.0%
ナイジェリア	14380	16680	16.0%
米国	14345	15060	5.0%
マレーシア	12695	14060	10.0%
香港	9600	9945	3.6%
パキスタン	9610	9815	2.1%
サウジアラビア	5205	8340	60.3%
カナダ	5350	5575	4.2%
タイ	4675	5505	17.8%
その他 EU 外出身国別学生総数	94355	100290	6.3%
合計	251310	280760	11.7%

【HESA の関係 URL】

<http://www.hesa.ac.uk/index.php/content/view/1943/161/>

● 高等教育における職員に関する調査 2009/10 (Staff in Higher Education Institutions 2009/10) について

3月3日、HESAは高等教育における職員に関する調査を発表した。本調査によると、2009年12月1日現在、英国高等教育機関で働くアカデミックスタッフは181,595名となっている。また、アカデミック以外のスタッフは205,835名のうち9.3%が英国外からの職員となっている。

<英国高等教育機関におけるアカデミックスタッフ>

	2005/06		2009/10	
人種				
白人	130365	89.3%	145120	88.0%
黒人	2055	1.4%	2550	1.5%
アジア系	9855	6.8%	12595	7.6%
その他（混血含む）	3635	2.5%	4675	2.8%
不明	18960		16655	
性別				
女性	69125	41.9%	79900	44.0%
男性	95750	58.1%	101690	56.0%
不明	5		5	
国籍				
英国、チャンネル諸島、マン島	121870	79.5%	132095	76.0%
英国外	31445	20.5%	41765	24.0%
不明	11565		7735	
合計	164875		181595	

<英国高等教育機関におけるアカデミック以外のスタッフ>

	2005/06		2009/10	
人種				
白人	157850	91.3%	173075	90.2%
黒人	4350	2.5%	5410	2.8%
アジア系	7895	4.6%	9930	5.2%
その他（混血含む）	2725	1.6%	3545	1.8%
不明	17715		13880	
性別				
女性	119145	62.5%	128490	62.4%
男性	71390	37.5%	77345	37.6%
不明	5		0	
国籍				
英国、チャンネル諸島、マン島	161965	92.1%	178715	90.7%
英国外	13805	7.9%	18340	9.3%
不明	14765		8780	
合計	190535		205835	

【HESA の関係 URL】

<http://www.hesa.ac.uk/index.php/content/view/1969/161/>

⑤ 英国大学協会（UUK: Universities UK）の動向

● キャンパスにおける言論の自由と安全に関する報告書の公表について

2月18日、UUKは、職員、学生やコミュニティの福利を守りつつ、いかにキャンパスにおける言論の自由を促進するかについての報告書（Freedom of speech on campus : rights and responsibilities in UK universities）を公表した。この報告書は関連する規則等を調査し、大学が言論の自由を守り、平等性と安全性を促進し、議論の余地のあるような外部講演者と抗議行動に対してどのように対応するかなどの事例を挙げている。

- ・講演者の会合でのプロトコル／指針等の見直し。この報告書では、招待された講演者の扱いに関する例示
- ・キャンパスの安全問題に対応するのに適した上位の人材の認定
- ・キャンパスの安全、学問の自由、言論の自由やこれらの分野が機能するための法的必要条件と同等の権利などに関連した決断の支援
- ・学生組合と協同して、生徒や生徒のコミュニティに対し、学問の自由、言論の自由や平等権に関連する機関、学生組合、学生コミュニティ、学生の有する権利と責任について明確な情報を付与
- ・警察、地方公共関係団体、コミュニティグループなど外部団体との定期的な会合等の

実施を可能にする構造の構築

【UUK の関係 URL】

<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/Guidancetouniversitiesonfreedomofspeechandsecurityoncampus.aspx>

- UUK の春季会議におけるデビッド・ウィレットツ大学・科学担当大臣の講演について
2月25日、UUK は春季会議におけるデビッド・ウィレットツ大学・科学担当大臣の講演についてコメントを発表した。UUK は、将来、高等教育を供給する者は特に大きな変革が起こりうるとし、過去の取組は未来に向かっての良い助言とはならないとした。また、大学にとって不安定な時期だとし、白書の公表が延期されたことで、各大学は、将来的な財政状況が明確にならないまま、2012年の授業料を設定しなければならないとした。

【UUK の関係 URL】

<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/Minister%e2%80%99speechsignalsradicalchangeforuniversities%e2%80%99future.aspx>

- OFFA が公表した Access Agreement の指示書の内容について

3月8日、UUK は、OFFA が公表した Access Agreement の指示書の内容についてコメントを発表した。UUK は、指示書は大学の公平なアクセスを拡大するために（大学に）与えられた柔軟性のバランスに打撃を与えるとした。OFFA が理解しているように、今は移行期間にあたり、指示書は、今後改正・監視すべきだとした。

【UUK の関係 URL】

<http://www.universitiesuk.ac.uk/Newsroom/Media-Releases/Pages/GuidancefromOFFAstrikesrightbalance.aspx>

⑥ その他機関の動向

1) Russell Group の動向

- 技術を身につけている移民を対象とした新しい対応について

2月16日、Russell Group は、技術を身に付けた移民を対象とした、ポイントベースシステムを基にした Tier2 の新しい対応についてコメントを発表した。Russell Group は Tier2 システムに大学等の職員や研究者が優遇されたことを歓迎し、彼らが英国に学術・経済的な活性化をもたらし、彼らの後に続く数え切れない人々に影響を与えるだろうとした。また、Tier1 の突出した才能を持つ人（Tier1 for Exceptional Talent）の対応についても引き続き注目しているとしている。

【Tier2 の概要】

ポイントベースシステムを通じた Tier2 の発給数は 20,700、突出した才能を持つ人を対象とした発給数は 1,000。新制度下では、雇用者はスポンサー資格（COS:

Certificate of Sponsorship) を申請しなければならない。発給数の上限である 20,700 は 12 ヶ月に分割され、4 月には 4,200 分の割り当てがある。COS の申請は、不足している業種、科学研究者などに優先される。

【Russell Group の関係 URL】

<http://www.russellgroup.ac.uk/russell-group-latest-news/137-2011/4771-new-arrangements-for-skilled-migrants/>

【Home Office の関係 URL】

<http://www.homeoffice.gov.uk/media-centre/press-releases/visa-reforms>

● OFFA が公表した Access Agreement の指示書の内容について

3 月 8 日、Russell Group は OFFA が公表した Access Agreement の指示書の内容についてコメントを発表した。Russell Group グループに所属する大学は、出身に関わらず優れた学生に対する公平なアクセスに最大限の努力を投じているが、貧しい生徒の成績に問題があることを理解すべきだとし、公平なアクセスを拡大する最も有効な方法は彼らの成績を上げることと早い段階での適切な進路相談等を行うことにあるとした。大学は公平なアクセスの支援をすることはできても、単独でこの問題を解決することはできないと述べた。

【Russell Group の関係 URL】

<http://www.russellgroup.ac.uk/russell-group-latest-news/137-2011/4776-offa-guidance-to-universities-charging-over-6000/>

2) National Audit Office (NAO) の動向

● 高等教育における財政的な持続可能性の管理に関する報告書について

3 月 4 日、NAO は、高等教育における財政的な持続可能性の管理に関する報告書 (Regulating financial sustainability in higher education) を公表した。主な内容は以下の通り。

- ・ 近年、高等教育分野は収入において強力な成長を遂げ、財政的な持続可能性の頑健性を増している
- ・ 高等教育財政会議は、財政的な持続可能性の管理について費用効率の高い運用を行っている
- ・ 高等教育財政会議による各機関の財政的な持続可能性の評価は中期的なリスクを効果的にカバーしているが、短期的なリスク評価については改善事項がある
- ・ 高等教育財政会議は、ある機関が 'ハイリスク' であることを判断できるプロセスを有しているが、今後の高等教育改革に即した見直し等が必要
- ・ 高等教育財政会議は当該分野のリスクに関する年次報告書を公表しているが個々の機関の評価報告書は定期的に発行されていないなど。

【NAO の関係 URL】

http://www.nao.org.uk/publications/1011/financial_sustainability_in_he.aspx

3) UCAS の動向について

● 2011 年の大学志願者状況について (2011 年 2 月 21 日現在)

2 月 21 日、2011 年の志願者状況について公表した。なお、公表資料には、性別、年代別、出身地域別、コース別などのデータも含まれている。次回公表は、3 月 28 日を予定。

【2011 志願者数】

	2010 年入学	2011 年入学	増減数	増減 (%)
総志願者数	587,857	604,705	16,848	2.1%
総出願数(※)	2,490,025	2,628,121	138,096	5.5%

※学生は複数の出願が可能

【UCAS の関係 URL】

http://www.ucas.ac.uk/about_us/media_enquiries/media_releases/2011/20110228

⑦ 英国の新聞等報道 (2011 年 2 月 16 日～2011 年 3 月 15 日)

● The TIMES

16 February 2011

科学者に優先的にビザ発行

Scientists will have priority in queue for visas

17 February 2011

学生リーダーのメモが発覚：授業料値上げに対する抗議をやめよ

Memo from student leaders: don't fight rise in fees

20 February 2011

大学の生き残りをかけて「8,000 ポンドの授業料を要求」

University's survival 'requires £8,000 tuition fees'

21 February 2011

大学担当大臣：9,000 ポンドの授業料を課す大学はむしろ愚かだ

Some universities charging £9,000 may look rather silly, says minister

28 February 2011

ランキング下位の大学が高い授業料を課す場合には学生数減の措置

Poorer universities risk cut in students for charging top tuition fees

01 March 2011

大学授業料の値上がりを前に UCAS※に記録的多数の申請

Record numbers apply to UCAS as fees loom

※UCAS : Universities & Colleges Admissions Service ... 高等教育機関へ進学する際の出願に関する処理を行う機関。進学希望者や高等教育機関関係者への情報提供等のサービスも行う。

02 March 2011

エクセター大学の授業料は 9,000 ポンドに

University of Exeter to charge fees of £9,000

03 March 2011

学生ビザの制度変更に伴う「壊滅的」影響を国会議員が警告

Changes to student visas will have ‘devastating’ effect, MPs warned

08 March 2011

OFFA は授業料高騰になすすべがない

Education chief ‘powerless’ to limit fees

14 March 2011

楽な選択が「科目のアパルトヘイト」を生み出すと公立学校校長

Head says ‘soft’ options will create ‘subject apartheid’

●The Guardian

18 February 2011

大学は過激派と向き合い議論すべき、UUK の報告書より

Universities must engage and debate with extremists, report says

<http://www.guardian.co.uk/world/2011/feb/18/university-urged-debate-extremists>

20 February 2011

ウィレッツ大学大臣は授業料の上限を課す大学を警告した

David Willetts warns universities over imposing maximum fees

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/feb/20/david-willetts-warns-universities-maximum-fees>

24 February 2011

記録的な数の若者が学業にも職業・研修にも従事していない（ニートとなっている）

Record number of young people not in education, work or training

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/feb/24/young-people-neets-record-high>

25 February 2011

ウィレッツ大学大臣は“法外な料金を請求している”大学に対しては更なる予算削減をつきつけると発言

Minister threatens 'overcharging' universities with further funding cuts

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/feb/25/few-universities-justified-charging-maximum-fees>

1 March 2011

イギリスの大学はヨーロッパから多くを学ぶことができる

UK universities could learn a lot from Europe

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/01/uk-universities-learn-europe-colleagues-peter-scott>

6 March 2011

イギリスの学生は学位を海外で取ることが割に合うということを学びつつある

British students are learning that it pays to take their degree abroad

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/06/university-europe-no-debt>

8 March 2011

授業料を上げる予定の大学はアクセスを広げるために二倍の支出が必要になる

Universities raising fees must double spending on widening access

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/08/widening-access-tuition-fees-offa>

8 March 2011

営利目的の教育機関は高等教育にプラスになるか？

Will for-profit providers do higher education any good?

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/08/higher-education-for-profit-providers>

10 March 2011

イギリスの大学は米国に次いで二位—THE紙の評判ランキングより

UK universities second only to US, study finds

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/10/uk-universities-league-table>

14 March 2011

大学は高い授業料を課すことに対して罰金に直面するかもしれない

Universities may face penalty for charging high tuition fees

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/14/high-tuition-fees-university-fine>

15 March 2011

ウィレッツ大学大臣は卒業生のスキルの（産業が求めるものとの）ギャップを警告

Universities minister warns of graduates' skills gap

<http://www.guardian.co.uk/education/2011/mar/15/universities-minister-graduates-skills-gap>

●The Independent

22 February 2011

リヴァプール・ホープ大学が最高額の授業料を課さないことを決定

Liverpool Hope University declines maximum fees

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/liverpool-hope-university-declines-maximum-fees-2222372.html>

23 February 2011

リヴァプール・ホープ大学は最高額の授業料を課さない

Liverpool Hope will not charge top tuition fee

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/liverpool-hope-will-not-charge-top-tuition-fee-2222630.html>

24 February 2011

授業料値上げを乗り越えるための法律での挑戦が開始された

Legal challenge launched over tuition fees

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/legal-challenge-launched-over-tuition-fees-2223828.html>

26 February 2011

私立大学にも公的なローンを受給することが許される

Private university intake allowed to get state loan

[http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/private-university-](http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/private-university)

[intake-allowed-to-get-state-loan-2226079.html](#)

28 February 2011

授業料値上げに伴ってギャップ・イヤーへの申し込み者が減少

Gap years in decline as university fees rise

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/gap-years-in-decline-as-university-fees-rise-2227582.html>

2 March 2011

数百人のオックスブリッジの研究者が、授業料値上げに対しての調査を要求

Hundreds of Oxbridge dons demand inquiry into tuition fees

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/hundreds-of-oxbridge-dons-demand-inquiry-into-tuition-fees-2229615.html>

2 March 2011

エクセター大学が最高額の授業料徴収へ

Exeter to charge full tuition fee

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/exeter-to-charge-full-tuition-fee-2230311.html>

4 March 2011

高額な授業料は大学を破産させることになる」と監視機関が発表

Tuition fees will bankrupt universities, says watchdog

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/tuition-fees-will-bankrupt-universities-says-watchdog-2231798.html>

5 March 2011

Lord Sugar の右腕が授業料の上昇は“暴力”であると述べた

Sugar's right-hand man tells students fees rise is an 'outrage'

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/sugars-right-hand-man-tells-students-fees-rise-is-an-outrage-2232957.html>

6 March 2011

学生ビザの削減は、大学のコースを閉鎖に追い込みかねない

University courses 'may close' if student visas cut

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/university-courses-may-close-if-student-visas-cut-2233907.html>

8 March 2011

政府は授業料値上げ政策において失敗をした

Government setback on tuition fees

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/government-setback-on-tuition-fees-2235170.html>

16 March 2011

大学は 7,500 ポンドの授業料にこだわることで質が悪いと見做されることを避けようとしている

Universities try to avoid 'Ratner' tag by insisting on £7,500 tuition fees

<http://www.independent.co.uk/news/education/education-news/universities-try-to-avoid-ratner-tag-by-insisting-on-1637500-tuition-fees-2242843.html>

●Times Higher Education

17 February 2011

標準として博士課程の重要性が上昇

The rise and rise of PhDs as standard

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=415203>

17 February 2011

Times Higher Education 学生生活調査

Times Higher Education Student Experience Survey

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=415180>

24 February 2011

Offa は骨抜き? 政治的な混乱の原因

You mean Offa is toothless? The reason for policy chaos

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=415292>

24 February 2011

£9,000 の授業料を、'守ることは難しい'、ウィレッツ大臣のコメント

£9K fees 'difficult to defend', says Willetts

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=415299>

24 February 2011

早急に必要：ブラウン卿の考えを実行するための白書

Urgently required: a White Paper to carry out the Browne vision

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41530>

4

3 March 2011

£6,0000 が上限、調査結果をブラウン卿に報告

£6K must be ceiling, survey told Browne

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41535>

8

3 March 2011

‘疑わしい’ Offa の通知は高等教育分野の自由を脅かす

‘Suspect’ Offa letter threatens sector’s freedom

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41536>

4

3 March 2011

連立政権が実感している不安定な状態は、授業料の帳尻が合わないこと

D’oh! State of anxiety as coalition realises fees sums don’t add up

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41537>

3

10 March 2011

多様性がより高い授業料へ

Diversity charges for higher fees

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41543>

8

10 March 2011

反発を招いたビザの変更についてウィレッツ大臣は曖昧な理論を述べる

Willetts offers fuzzy logic as visa changes draw fire

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?sectioncode=26&storycode=41542>

4

●BBC

18 February 2011

学生ビザの制限は大学にとって恐怖

Student visa limits dire for universities, says report

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12496610>

20 February 2011

大学が上限一杯まで授業料を値上げすることはばかげて見える

Universities charging maximum fees could 'look silly'

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12518319>

2 March 2011

オックスブリッジの教授陣は、財政的な計画に警鐘を鳴らした。

Oxbridge academics 'alarmed' over funding plans

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12620234>

2 March 2011

グラクソスミスクラインは、研修生の授業料を支払うことを提案

GlaxoSmithKline offers to pay trainees' tuition fees

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12619365>

4 March 2011

大学関連 : NAO は予算削減が破綻危機を警告

Universities: NAO warns cuts pose bankruptcy risk

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12636185>

6 March 2011

学生ビザが制限されたら、大学の課程は閉鎖されるだろう

University courses 'may close' if student visas cut

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12658309>

8 March 2011

大学は貧しい学生のための授業料徴収に直面

Universities face tuition fee levy for poorer students

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12665503>

10 March 2011

世界で最も優れた大学が '評判' によってランキング

World's best universities ranked by 'reputation'

<http://www.bbc.co.uk/news/education-12689423>

4. フランス

① フランス高等教育の動向

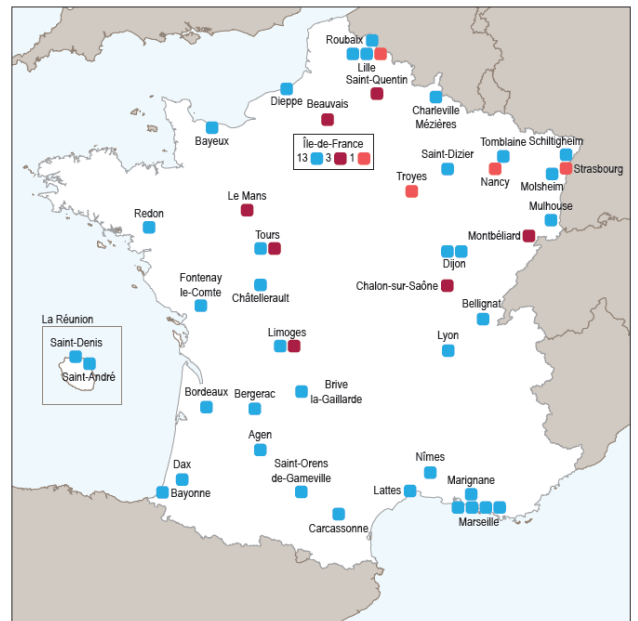
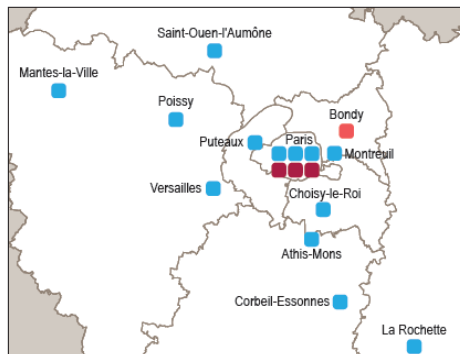
● 「上級技術者教育コースの改革」

フランス高等教育大臣の Valérie Pécresse 氏は 2010 年 5 月、上級技術者教育コースの改革を目指して、優れたプロジェクトの募集を行ったが、この度 65 プロジェクトが選出され、計 100 万ユーロの支出が決定した。本プロジェクトに選ばれると、職業バカロレアでよい成績を収めた学生を受け入れる教育プログラムをより推進することができる。本プロジェクトの施行によって、フランスの高等教育の第一期（1～2年）の過程において重要な役割を果たしている上級技術者教育コース（S.T.S.）の改革が行われ、フランスの職業教育推進が図られようとしている。下記にフランスの各学区における本プロジェクトの選出状況を示す。

【上級技術者教育コース改革プロジェクト選出状況】

Localisation des établissements lauréats de l'appel à projet
Sections de techniciens supérieurs (STS)

- Projets portés par un seul établissement
- Projets portés par plusieurs établissements d'une même commune
- Projets portés par plusieurs établissements de plusieurs communes



- 単一機関でのプロジェクト
- 同一地域内での複数の機関のプロジェクト
- 複数地域にまたがった複数機関のプロジェクト

参考資料

・ フランス高等教育・研究省 HP（2011年3月1日）

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid55190/65-projets-pour-renover-les-sections-de-techniciens-superieurs-s.t.s.html>

●「フランス国立大学長協会とフランス原子力庁（CEA）との新たなパートナーシップ」
2011年3月8日、フランス高等教育研究大臣 Valérie Pécresse は、フランス国立大学長協会とフランス原子力庁（CEA）が新たなパートナーシップについて調印式を行ったことを歓迎する声明を発表した。この調印により、フランスの大学等高等教育機関と原子力庁との間でより幅広い協力関係が築かれることになる。高等教育の改革精神に沿って、異なるセクター同士における教育や、経営、研究者の採用、共同研究がより開けたものとなる。例えば、高等教育機関と CEA との連携研究室の設立や寄付講座の開講、CEA の研究・高等教育拠点（PRES）への協力等が可能となる。

参考資料

・フランス高等教育・研究省 HP （2011年3月8日）

<http://www.enseignementsup-recherche.gouv.fr/cid55292/signature-d-un-nouveau-partenariat-entre-les-universites-et-le-c.e.a.html>

5. 中国

①中国政府の高等教育政策の動向

●教育部：19 大学基礎学科の優秀学生養成の実験計画実施

China Education Daily/中国教育報 (2011. 2. 28)

2月27日、教育部、中央組織部、財政部の共同プロジェクト「基礎学科拔尖学生育成実験計画（略称：拔尖計画）が北京大、清華大、南京大などの19大学で実施されることが、教育部とのやり取りで明らかになった。

計画の目標は以下のとおり。高水準の研究型大学の優れた基礎学科に国家青年英才育成基地を設立し、大学拔尖学生の重点育成体制機構を確立することで優秀な学生を基礎学科に引き付け、突出した人材育成の気風を作り上げる。また支援する学生にそれに関する基礎領域でのリーダーとなり、国際的な一流科学者のチームに参加できる人物に成長してもらうことである。

拔尖計画はまず数学、物理学、化学、生物科学とコンピュータなどの領域からスタート。大学側が自主的に学生募集集や二次選抜を行い、関心が高く潜在能力のある学生を計画対象に選ぶ。

●中国、博士、碩士、学士の学位取得者 2100 万人に

China Education Daily/中国教育報 (2011. 2. 11)

12日、『中華人民共和国学位条例』実施30周年記念大会が開かれ、この30年で中国における学位取得者は、博士が33万5千人、碩士（修士）273万2千人、学士1830万人となったことが明らかにされた。

条例実施から30年が経過し、中国は特色ある学位制度を形成し、学部専攻の種類が揃った全体像を考慮した合理的な学位授与の体系を作り上げ、国内での自主的なエリート人材育成戦略の目標を実現している。2009年末までに、中国の学位授与する校数は博士が347ヶ所、碩士が697ヶ所、学士が700ヶ所となっている。現在全国の大学院生はすでに140万5千人に達し、うち博士課程は24万6千人。各クラスの学部専攻研究生はあわせて90万人を越える。

『中華人民共和国学位条例』は、1980年2月12日、第5回全国人民大会常務委員会第13回会議を通過し、1981年1月1日から正式に実施された。この公布実施により、新たな中国学位制度の目標がここから誕生するとともに、新中国教育の法制化の道筋を示し、“知識と人材の尊重”の社会の気風形成を大きく前進させた。

●北京市：大学生のための課外科学技術のプラットフォームを開設へ

China Education Daily/中国教育報 (2011. 2. 10)

2010年北京市大学生学科競技大会授与式・総会が開催されて以降、北京大学生学科競技大会はすでに北京の大学生に人気の課外科学技術イベントとなると同時に、学生と産業界との距離を縮めるプラットフォームの役割を果たしている。

2010年、北京市教育委員会は12種目の学科競技大会を成功させた。市内82校の大学生が参加する大会には、市の予選に1万人以上、校内予選には4万人が参加し、学生の創造性を向上させている。

2008年に北京市教育委員会、市財政局が共同で『北京の大学の教学の質と改革の道筋に関する意見』を発表し、大学生の実践能力と創造精神の育成は質工程の重要な内容であることから、予算を投じて10種目程度の学生学科競技大会を支援することを明らかにし、大会開催は各種目1校が担当することとした。専門家の議論を経て、元々ある数理モデルなど4種目を基礎に、ニーズがあり実践性が強く、学科教育改革と関連のある11種目を新設。人文知識、広告芸術、物流設計、模擬法廷など理学、工学、文学など様々な学科が含まれ、融合を促進する。

北京市教育委員会と関連の責任者は、「学科競技大会開催によって大学は大会への魅力を拡大すると同時に、自校の特色を結合させる。さらに競技会の発展が教育教学改革の促進へとつながるだろう。一部の学校は大会の成果を成績に反映させ、実験室を開放して学生に専門的で多様な課外授業を提供している。ある種目は、競技会によるコミュニケーション効果を発揮し、教師の交流や検討会、トレーニングが組織され、ともに教育改革の課題を担い、一部ではすでに広く応用されている」と話す。

②中国の主要大学の動向（主として大学のHPから）

●華東師範大学：アフリカとの教育提携を開拓へ（2011.1.6）

2010年末、三日間に渡って第4回「亜細亜太平洋国際教育会議」が華東師範大学で開催された。国内外の知名度の高い大学長及び教育関係者が一同に集まり、熱心に議論が交わされた。会議にはウガンダ、タンザニア、ルワンダ、スーダン、ジンバブエなどアフリカ諸国の教育関係者も多数出席した。華東師範大学は今後アフリカの大学と提携・交流をさらに推進していく意欲を示した。

http://news.ecnu.edu.cn/keynews/2011/2011_keynews_077457.shtml

③メディア（インターネット）による報道

●武漢大学：ウイルス学の「973計画」プロジェクトを始動（2011.1.9）

「ウイルス潜伏感染の分子機構」をテーマとする、中国国家重点基礎研究発展計画(「973計画」)のプロジェクトは科学技術部の認可を取り、武漢大学で始動させた。当プロジェクトは、ウイルス潜伏という最先端科学についてオリジナルの研究を展開する。重要なウイルス感染症の特徴に基づき、ウイルス学、免疫学、分子生物学、エピジェネティクスを利用し、中国において大きな損害をもたらしたウイルスを研究対象にウイルス潜伏感染の分子機構と法則を明らかにすることをねらっている。本プロジェクトは、ウイルス学、華南腫瘍学、ウイルス遺伝子工学、製薬バイオテクノロジーという四つの国家重点実験室に頼り、中国科学院上海パストゥール研究所、武漢大学、中国科学院武漢ウイルス研究所や中山大学などの12の科学研究所及び学校の協力を取得し、ウイルス分子生物学、細胞の調節シグナリング、免疫学などの研究において優位性のある研究者の協力を得ている。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/201101/t20110109_409848.html

●華南理工大学：9月から「三学期制」を採用（2011.1.13）

華南理工大学は、2012年9月から「三学期制」を採用し、一年間の課程を二つの学期から三つの学期に変える。同大学は、三学期制の改革を人材育成の改革と大学の国際化と結びつけ、三学期制への移行を確保する、という。同大学の丘副学長は、「三学期制は、教師が教育活動と科学研究の両方に配慮を入れることと、短期間で高質な授業をすることに有利である。大学は短い学期を利用し、社会実践活動や実際訓練を実行する」と話した。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/201101/t20110113_410461.html

●吉林大学：専門職学位の大学院生教育を総合的に改革（2011.1.7）

吉林大学の申請した法律修士、工学修士（車両工学）、公共管理修士という三つの専門職学位は専門家に評価され、専門職学位大学院生の教育改革の実行が認可された。「教育理念の変更、養成モードの革新、管理システムの改革、養成の質の向上」をテーマとする改革は、院生の選抜制度、養成案、養成モード、学生の評価、教授陣の建設、管理体制などを改善し、専門職学位の院生教育を一日も早く応用型人材に対する社会発展の要求に応えるよう、健全な専門職学位の大学院生教育制度を確立している。

http://gaojiao.jyb.cn/gdjyxw/201101/t20110107_409676.html

④メディア（新聞）による報道

●湖北省：30名の海外留学経験者、湖北省初の百人計画に選出。最高賞金は百万元
Science Times/科学時報（2011.1.31）

湖北省委員会人材工作リーダーグループの審議により、湖北省初の海外エリート人材「百人計画」のメンバーの名簿が作成された。欧米など10カ国の国と地域からの留学帰国者30名が初の百人計画に選出された。百人計画は省委員会省政府画実施する海外からの頭脳の取り込みのための重要な施策で、計画は5～10年、湖北省に不足している200名程度の創造性のあるエリート人材を引き込み、各50～100万元の資金を支援するというもの。

初回に選出された専門家は革新的技術と実績を持ち、湖北省重点学科や産業と契約の可能性が高い。学歴は、海外の有名大学で博士号を取得した人の割合が80%で、准教授以上の役職もしくは企業の間管理職クラス以上の職歴が67%を占める。地域別には、アメリカからの帰国が50%、その他はイギリス、日本、カナダなどの国と地域。

昨年来、134名の海外エリート人材が湖北省の百人計画に申請し、第一回審査、最終審査と実地考察を経て、最終的に30名が選ばれた。

●湖南省：大学の債務問題解決のため50億元の資金を調達と同時に関連政策を導入
China Education Daily/中国教育報（2011.2.25）

湖南省政府は2月24日、全省大学債務に関する会議を開き、関連する政策を公布した。計画は今年から来年にかけて省に50億元の資金を調達するとともに、中央政府からの奨励を獲得して大学事業費の削減などの実施を通し、全省の大学の2009年までに抱えた142億元の債務問題を解消し、大学の負債を合理的な範囲にまで下げ、債務によるリスクを基本的に解消する。

統計によれば、2009年末までに、湖南省地方政府が経営する普通大学の負債は142億元に達し、うち銀行からの借入れは115億元となっている。特に90年代後半からの湖南省が強力に推進した度を越した発展の推進が、学校の銀行からの借入れ拡大へつながったとされる。

省の財務支出50億元は大学の債務解消のため用いられる。

湖南省省長補佐で財務政庁長の李友志氏は、「民生に関する普遍的なプレッシャーが非常に大きく、財務収支の矛盾が指摘される中で、省の財務政庁は2011年から12年までに50億元を投じて全省大学の債務を支え、省委員会と省政府が一体となってこの件への重視の姿勢を示す。債務用の資金を分配する際、政策動向を明確化し、大学の在学者数、学生数の拡大、大学の債務解消への努力の程度などの要素を考慮し、負債金額をネックにせず借りた分だけ得をする不公平を避けるよう対応する」と述べた。

また、中央政府が最近になり地方大学の債務問題を補助する専門資金を設立しており、基本的な奨励金のほか変動の奨励金を加えた方式を採用しており、地方大学の債務解消を推し進める。

中西部の省に対しては、中央は各省の毎年の負債解消のために45%に基礎奨励金を与

えるのと併せて、努力の程度や負債の減少幅、学生の増加などの要素をもとに、最高毎年の一般予算の債務解消のための資金のうち最高 10%の変動奨励金を提供する。湖南省はこのチャンスを捉え、全省の大学の債務問題解決に着手する。特に大学に関する“借入金による操業”の局面から新たな発展へとつなげていくのが重要で、大学の借り入れの規模を身の丈に合ったものにし、基本的に大学の負債によるリスクを回避する。

赤字大学は事業収入の 15%を債務問題解決にあてる。

湖南省はさらに、各負債のある大学は貸借がメインの課題であり、道理に基づき負債の返還の責任を負うとする。各大学に返済の責任を切実に履行させるため、今年と来年、すべての借金のある大学は事業収入の 15%を債務問題解決にあて、省の財務政庁は各大学が 15%徹底されてから、再度債務問題解決のための専用資金を支出するとする。国庫に支払い管理要求が集中するのによって、債務問題解決の専用資金は直接貸し手の銀行へと支払われる。

湖南省は市州級の財政担当部署に中央と省の手法を参考にし、財務問題解決の資金を開設し、市州管轄の大学の負債に用いるよう要求している。

各大学の更なる自助的發展を鼓舞する

湖南省は新たな借り入れを厳格に規制すると強調する。学内において資金を調達する場合、新たな借り入れをせずに専用資金だけを用いて学校の正常な運営に影響が及ばないようにする。同時に計画をつくり、銀行ローンの審査制度と大学の負債状況の監視体制を構築し、厳格な大学建設のガイドラインづくりと計画から、新たな借り入れの発生を防止する。

湖南省財務政庁ら 4 部門は、以下のように大学の銀行からの借り入れの審査制度を改善するよう大学側に通知した。・原則 2 年以内に大学は新たな計画を作成実施する。・各銀行の借り入れは管轄部門と財政部への報告と批准を必要とする。・2012 年以降の大学の負債に関する作業は各校が独自に行う。・大学が解決に消極的で、専用資金実施後の成果が見られない学校は、財務政庁が資金の対象からはずし、減額もしくは停止の手続きをとる。

湖南省委員会副書記の梅克保は、「資金投入は一時的な輸血に過ぎず、各大学の發展維持のため、自助的能力による發展が鍵になり、造血能力を高めて産学間の提携をすすめ、資金調達の道を拡張することで財務状況を強化しつつ浪費と重複する支出を絶たねばならない。核心の質を高めポジションを確実にし、科学研究判断と積極的に経済社会發展の科学技術や人材需要を考慮し、教育に強い省の確立と豊かな強い省の偉大なる実践に望んで生きたい」と述べた。